

県立高校の入試準備

開倫塾 塾長 林明夫

Q 県立高校入試まで 1 か月を切りました。どのような入試準備をしたらよいのですか。

A 今までに出題された問題(これを過去問と呼びます)を、最低でも 5 年分、とりあえず時間を守って解いてみましょう。

科目ごとに、よくできる問題とあまりできない問題をはっきりさせることが大事です。

Q はっきりさせてどうするのですか。

A よくできる問題での得点を確実にするために、過去問の中でよくできた問題を 5 年分、同じ問題を 5 回以上やり直してみましょう。できれば、同じ問題を 10 回以上やり直すことをお勧めします。

Q え、5 回以上も同じ問題をやるのですか。

A 問題を見た瞬間に正解がパツ、パツと出てくる問題が多ければ多いほど、難しい問題に時間がかけられますよ。

Q 科目別にコツを教えてください。

A 英語のリスニングが不得意な人は、5 回～ 10 年分の過去問のリスニング本文の意味を十分理解した上で、音読練習と単語の書き取り練習をすること。語句の意味がわからず、よく読めず、書けないものは、聞いてもわからないからです。

国語の作文は、過去問を用いた練習が最も効果的。漢字書き取りもお忘れなく。

社会は、重要事項の意味をよく理解した上で、正確にことばの意味を覚えること。音読が有効。重要語句は、漢字で書かないと減点されることもあるので書き取り練習。

理科で計算問題が出る分野は、過去問 5 回～ 10 年分を 5 回以上解くこと。

数学は、よくできる過去問、5 回～ 10 年分を 5 回～ 10 回以上やり直す。

Q この時期にやった方がよいことはありますか。

A 入試とは関係ありませんが、中学時代の友達は一生の友達、中学時代の先生は一生の恩師です。卒業までの 1 か月間に、あまり話したことのなかったクラスメートや先生と一度はゆっくり話をして仲良くなっておきましょうね。